

ニュース編集委員会

委員長 岩田展幸

原稿依頼とニュース発送までの流れは従来通りで、下記を予定しています。

2022年2号

(記事内容:「やあ こんにちは」ほか通常記事)

5月原稿依頼済み→6月中に発行・発送予定

2022年3号

(記事内容:第32回日本MRS年次大会、MRMフォーラム2022告知/A2ポスター形式を予定)

8月ポスター原案作成依頼→9月に発行・発送予定

2022年4号

(記事内容:「やあ こんにちは」ほか通常記事、第32回日本MRS年次大会・MRMフォーラム2022詳細)

9月原稿依頼開始→12月上旬までに発行・発送予定

2023年1号

(記事内容:「やあ こんにちは」、第32回日本MRS年次大会・MRMフォーラム2022開催報告ほか)

12月原稿依頼開始→2月中に発行・発送予定

(実施計画)

- ◆ 例年、企画・実施していた「高専生サミットにおける審査員」、「日本MRS大実験室WS」の実施について現在検討中。全国高専で実施する各種イベント実施時期が変更されており、MRSJと連携したイベントについても計画は未定である。

(予算計画)

- ◆ 本年度、本委員会は予算計上の希望はしない。

English

第32回 日本MRS年次大会

- 2022年12月5日(月)～7日(水)
- 産業貿易センタービル他
- 主催:日本MRS

— Afterコロナウイルス時代へ向けたマテリアルズイノベーションの展開：
データ科学と実験・理論・計算の相補的連携 —

HOME

開催概要

シンポジウム & プログラム

登録

開催趣旨

新型コロナウイルス禍が始まってから2年が過ぎ、次段階への展開を図る動きが社会全体で活発化しつつあります。その中で材料科学・工学に求められる役割は一層大きくなり、2050年のカーボンニュートラル達成等を含むSDGsを念頭にした持続的な研究・開発活動が本格化しています。機械学習・AI・インフォマティクス等のデータ科学の発展・展開は材料研究にとり、そこで取り扱う材料研究の「データ」とは何なのかという根源的な問いを改めて考える段階に到達しつつあります。これには、どのように精緻な実験を更に突き詰めるか、発展著しい計算科学の材料分野での応用展開、多様性が大きい材料への解析理論の拡張などが含まれ、材料研究でのそれぞれの強みを再認識しつつ新たなチャレンジを改めて考える段階に来ているものと思われます。新次元のマテリアルズイノベーション強化を基礎学問の視点から支えるために、本会議ではさまざまな分野の専門家が領域や分野にとらわれず、我が国の材料研究開発を深く横断的に議論する場を提供いたします。併催されるMRM Forum 2022でのチュートリアル講演も併せ、グローバルな視野に立つマテリアルズイノベーションも推進いたします。

お知らせ

- | | |
|-----------|---------------------------------------|
| 2022-5-14 | シンポジウム提案書の受付締め切りを5月21日(土)まで1週間延長致します。 |
| 2022-4-21 | 第32回年次大会Webサイト公開 |

シンポジウム提案書受付中!

[提案書はこちら](#)

締め切り: 5月14日(土) ~~5月21日(土)~~

[日本MRS入会案内ページへ進む](#)

問い合わせ先

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町2番地
産業貿易センタービルB123
FAX:045-263-8539
E-mail: meeting2022@mrs-j.org
日本MRS事務局

[日本MRS:HOME](#)

シンポジウムテーマ一覧(全16件、内国際シンポジウム4件)

受理順	シンポジウムテーマ
1	スマート社会・スマートライフのためのバイオセンサ・バイオ燃料電池
2	水素科学技術連携
3	マテリアルズ・フロンティア
4	ソフトマテリアルサイエンス～ポリマーを基盤とした機能材料～
5	Nano-biotechnologies on Interfaces <国際>
6	先導的スマートインターフェースの確立
7	先端プラズマ技術が拓くナノマテリアルズフロンティア <国際>
8	プラズマライフサイエンス <国際>
9	自己組織化材料とその機能XVIII
10	特徴的な結晶構造・電子状態を有する遷移金属化合物の合成・評価と機能開拓
11	イオンビーム応用技術の進歩が刺激する材料革新 <国際>
12	社会実装材料研究シンポジウム
13	計算機シミュレーションによる先端材料の解析・機能創成
14	データ駆動型材料・物質科学研究の潮流
15	ナノカーボンマテリアルの機能と応用
16	エコものづくりセクション

■ 重要期日

内 容	期 日
シンポジウム公募 締切	2022年5月14日(土)
講演申込 開始	2022年6月13日(月)
講演申込 締切	2022年8月19日(金)
参加登録 開始	2022年8月15日(月)
受理通知 公開 (MyPage)	2022年9月16日(金)
早期参加登録 締切	2022年10月14日(金)15:00
事前参加登録 (オンライン) 締切	2022年11月18日(金)15:00
Abstract WEB公開	2022年12月1日(木)

第32回MRMフォーラム2022

実行委員長(未定)

言語:日本語

総合討論

ここでは、日本の材料研究について解決されるべき複合的課題に対する総合討論を実施します。

2020テーマ

「日本の材料研究の現状と課題・その解決の糸口を探る」

2021テーマ

「日本の材料研究の現状と課題・その解決の糸口を探る」

公開討論

チュートリアル **MRMまたは年次大会**のコンテンツをより深く理解するための講義

2020テーマ:8+8テーマ

2021テーマ:6テーマ

特別セミナー 中等教育期間などとの連携

MRMフォーラム2021は、前回会議MRM Forum 2020 (<https://mrmforum2020.mrmj.org>) に準拠

総合討論 日本の材料研究について解決されるべき複合的課題に対する総合討論

公開討論 多様な分野における先進材料研究と高度材料技術に関する公開討論

チュートリアル 本学会中のコンテンツをより深く理解するための講義

特別セミナー 次世代の材料研究を担う若い研究者にどのようにバトンを繋いでいくのか

令和4年度活動計画(各委員会委員長)

MRM2023/IUMRS-ICA2023準備会

事務局長 鈴木淳史

正式名称(案) Materials Research Meeting 2023/ International Union of Materials Research Societies-International Conference in Asia 2023

略称: MRM2023/IUMRS-ICA2023

概要(案)

組織委員長: 白谷会長

実行委員長(複数): 分野別: DX(物理系): 化学系:

金属セラミックス系: 高分子バイオマテリアル系

内容

プレナリー、クラスター、シンポジウム40から50テーマ

重要期日(3/28案)

2022年

3月~事務局で準備開始

3/28の理事会で概要(工程表)承認

4月: 組織委員会立ち上げ

4月中旬: シンポジウムの公募(Call for Symposia)

8月: シンポジウム確定(ICYRAM終了後、本格始動)

スポンサー集め、プレナリー、キーノート

12月: Call for Paper 2023年6月末まで

(延長なし: 締め切り後はオーガナイザー判断)

2023年6月末: 採否決定

7月初め: 参加登録開始

9月末: Early Registration締切

Call for Symposia: 8/1締切

<http://mrm2023.jmru.org/>

Advanced Materials Research
GRAND MEETING

MRM2023
IUMRS-ICA2023

in Kyoto, Japan
December 11-16, 2023

